

(様式第4号)

川西地域協議会 会議概要

1 審議会名	第1回川西地域協議会
2 日時	令和元年6月25日 午後1時30分から午後2時25分まで
3 会場	川西地域自治センター まちづくり活動拠点会議室
4 出席者	赤羽武幸会長、内山正雄委員、小田朋香委員、神田けさ江委員、久保田直子委員、栗林一夫委員、小山梨絵委員、今佐津雄委員、佐藤有紀委員、白鳥隆夫委員、田村実英委員、西澤仁史委員、吉見理恵子委員、若林みゑ子委員 計14人
5 市側出席者	宮下センター長、上原地域振興政策幹、酒井係長、小山主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和元年6月28日

協 議 事 項 等

- 1 開 会
- 2 あいさつ(赤羽会長)
- 3 事務局からの報告(欠席者6人、会議成立、傍聴者1人)
- 4 会議事項
  - (1)連絡事項等
    - ・前回会議記録 承認
  - (2)協議事項
    - ア 「川西まちづくり計画」について  
事務局説明:川西地域協議会が主体となって策定した川西まちづくり計画は、同じ年に上田市から諮問され答申した総合計画(川西地区部分)とほぼ同じである。総合計画の担当課から本年10月に総合計画の見直しが諮問される予定との情報が得られたので、総合計画の見直しを行うとともにまちづくり計画も見直しを行いたい。これをどのように行うかご協議いただきたい。  
<意見>  
(委員)総合計画の諮問を受ける時期と答申の時期はいつか。  
(事務局)まだ確定ではないが、10月に諮問され3月末までに答申の予定である。  
(委員)二つの計画に影響するものであるなら、地域協議会の委員の意見だけでなくまちづくりの委員の意見も聞くべきだ。  
(事務局)まちづくりの委員からも意見をもらうようにするつもりで、事業計画を各部会で検討してもらおう予定である。  
(委員)本体の計画を見直しするのではなく、事業計画の見直しということか。  
(事務局)そのとおりである。事業計画の見直しにより、それが本体の計画に影響するものであれば、その表現を修正することになる。  
(会長)まちづくり委員会の各部会で行う検討は年内に終わらせてもらって、協議会は独自に総合計画の川西部分の検討を開始し、年明けにはまちづくり委員会との整合を図り完成させたい。  
(委員)まちづくり委員会の各部会で検討したものが出来てこない、協議会としても見直しが出来ないと思うが。  
(会長)協議会は協議会で検討する。まちづくり委員会で検討されたものは、最終的に合体し整合性をとるとのことだ。  
(委員)少子高齢化や人口減少の問題は地域ではどうしようもない問題なので、今いる人たちでより良い地域にしていくことを目指せばよいと思う。総合計画の文章については必要があれば修正すればよいだけである。とにかく、文章が難しい。特に「地域内分権」は非常にわかりにくい。

イ 川西地域協議会の本年度の日程について

(事務局) 上田市の地域協議会のあり方を市の担当課で検討が始まっており、各地域の協議会から意見を聞く機会を7月下旬から8月上旬にかけて持ちたいと言われている。また、魅力アップの次回募集は9月なので応募があれば協議会を開催する。また、総合計画の諮問は10月を予定しているので会議を招集することになる。

(会長) 当面は、今の説明のような日程となると思われるので承知いただきたい。また、総合計画に関する会議日程については、諮問の内容を見ながら決めたいと考えている。

(3) 報告事項

ア 全市域におけるわがまち魅力アップ応援事業の採択の状況について

地域協議会正副会長会に出席した赤羽会長から、4件採択となったとの報告がなされた。

イ 川西地域のわがまち魅力アップ応援事業について

(事務局) 前回5事業を継続すると報告したが、そのうちの「八人会」から取り下げの申し出があった。また、第2次の募集には応募がなかった。

(4) その他

次回の協議会の開催期日については、市の開催要請があった時点で会長が決定する。

5 閉 会